

令和 3 年度 練馬区医療救護所訓練（案）

1 訓練概要

（1）日時および会場

- ① 令和 3 年 9 月 19 日（日） 旭丘中学校（旭丘 2-40-1）
- ② 令和 3 年 10 月 10 日（日） 光が丘秋の陽小学校（光が丘 2-1-1）
- ③ 令和 3 年 10 月 17 日（日） 石神井東中学校（高野台 1-6-34）

※時間はいずれも午前 9 時 00 分～11 時 30 分

※雨天決行

（2）参加者

- ① 練馬区医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会
- ② 医療救護所医療従事スタッフ（登録看護師）
- ③ 順天堂練馬病院、練馬光が丘病院（災害拠点病院）
- ④ 学校関係者
- ⑤ 練馬区（避難拠点要員、危機管理室、地域医療担当部） 等

（3）内容

- ① 開会式
- ② 救護所ツアー
- ③ 開設訓練（図上）
- ④ 医療救護活動訓練（トリアージ、重症者処置、搬送、本部）
- ⑤ 閉会式

（4）その他

当日は、参加者を班分けし、接触の機会を減らして訓練を実施する。

2 タイムスケジュール（時間は移動時間を含む） ※9/19 実施予定の旭丘中学校訓練（案）

| 時間 | 訓練等 | 場所 |
|-------------|-----------|-------|
| 09:00～09:10 | 開会式（校内放送） | 指定の教室 |
| 09:10～09:30 | 救護所ツアー | — |
| 開設訓練 | | |
| 09:30～09:50 | 役割分担 | 指定の教室 |
| 09:50～10:10 | 設営（図上） | 〃 |
| 医療救護活動訓練 | | |
| 10:10～11:10 | A トリアージ | 多目的室 |
| | B 重症者処置 | 保健室 |
| | C 搬送 | 被服室 |
| | 医療救護所本部訓練 | 2階応接室 |
| 11:10～11:20 | 閉会式（校内放送） | 指定の教室 |

※訓練開始前に講習会を開催しないため、事前に以下の動画の視聴を推奨する。

◆YouTube 練馬区公式チャンネル

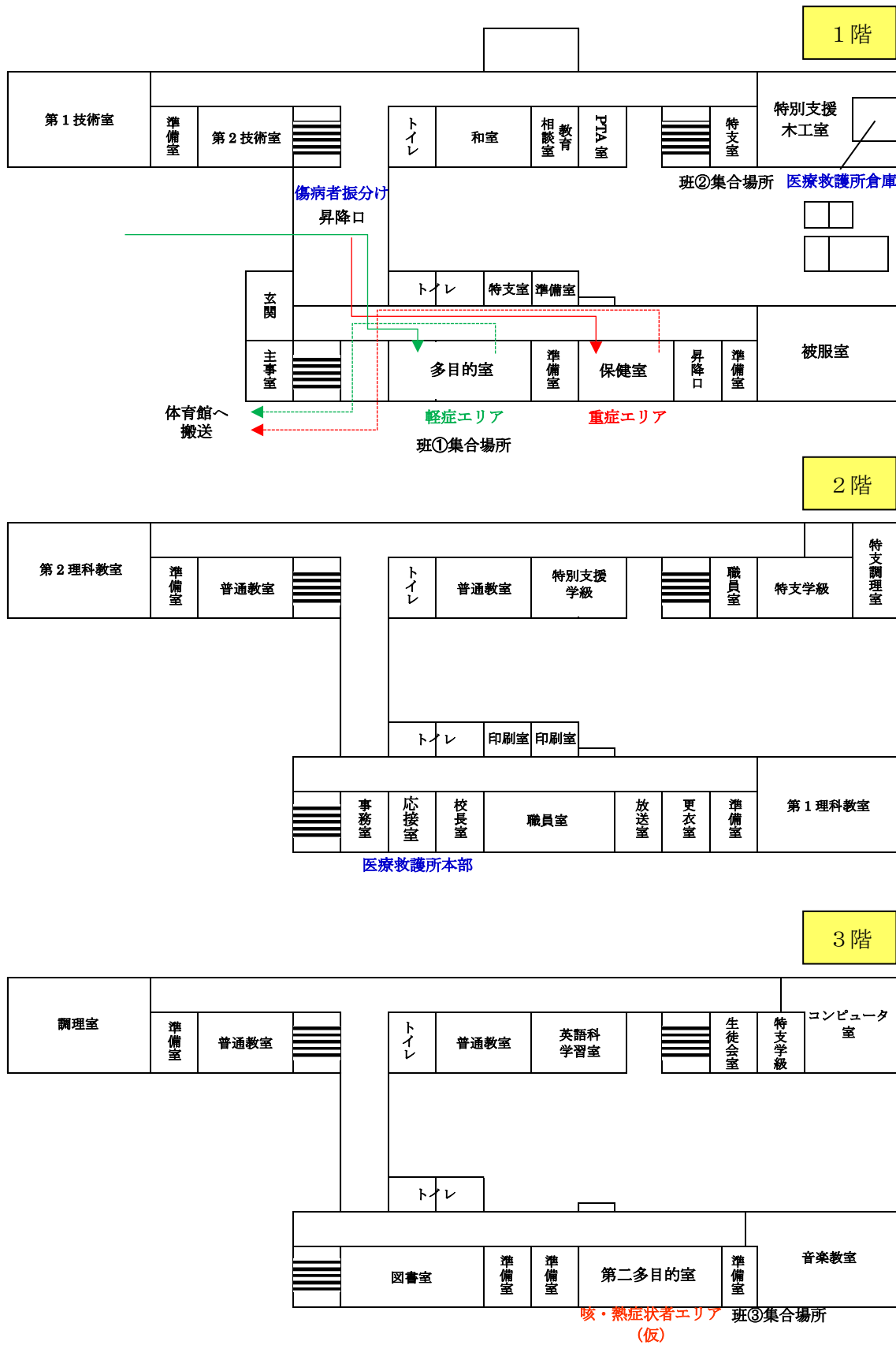
(URL) <https://www.youtube.com/channel/UC-SD2K6a-Y1tvRdyBGRReFQw>

(テーマ) ※再生リストにまとめて掲載

| | |
|---|---------------------|
| ① | 練馬区の災害医療体制 |
| ② | 医療救護所 |
| ③ | CSCATTT—災害医療のキーワード— |
| ④ | START 法—1次トリアージ— |
| ⑤ | PAT 法—2次トリアージ— |
| ⑥ | トリアージ実践（作成中） |



3 訓練会場レイアウト



4 被害想定

9月19日午前6時頃、関東地方で強い揺れを感じました。気象庁発表による地震の規模はマグニチュード8.2、震度は都内では最大震度7(品川区、大田区、町田市の一部)、練馬区内でも震度6強から6弱を観測しています。

東京都および練馬区では災害対策本部を設置して情報収集を行っており、首都圏の広い範囲において、建物の倒壊や火災、道路での多重衝突事故、鉄道の転覆事故などにより、多数の死傷者が発生しています。現在、警察・消防・自衛隊が救出救助活動を展開しています。

また、新型コロナウイルス感染症についても警戒が続いており、練馬区保健所は、区内で1日に30名前後の陽性者が発生していると公表しています。

発災から約3時間が経過し、医療救護所には、一部の医療従事者と区職員が参集してきました(当日割り振られた班のメンバー)。

5 各訓練項目の詳細

新型コロナウイルス感染症対策として、全参加者を1班10～15名程度の3班に分け、かつ班間の接触を極力減らす。各班の集合場所は、以下のとおりとする。なお、班の割り当てについては、参加者に事前に通知する。

| 班 | 集合場所 |
|----|----------|
| 1班 | 1階多目的室 |
| 2班 | 特別支援木工室 |
| 3班 | 3階第二多目的室 |

(1) 救護所ツアー (20分)

医療救護所で使用する備蓄倉庫、傷病者振分け場所(昇降口)、軽症エリア(1階多目的室)、重症エリア(保健室)、咳・熱症状者エリア(3階第二多目的室)を実際に歩いて確認する。また、各エリアの概要について、地域医療課職員が説明する。

| 班 | スタート地点 | その後の順路 |
|----|----------|---------------------------------|
| 1班 | 1階多目的室 | 保健室→特別支援木工室→3階第二多目的室→昇降口→1階多目的室 |
| 2班 | 特別支援木工室 | 3階第二多目的室→昇降口→1階多目的室→保健室→特別支援木工室 |
| 3班 | 3階第二多目的室 | 昇降口→1階多目的室→保健室→特別支援木工室→3階第二多目的室 |

(2) 開設訓練 (40 分)

① 役割分担 (20 分) @各教室

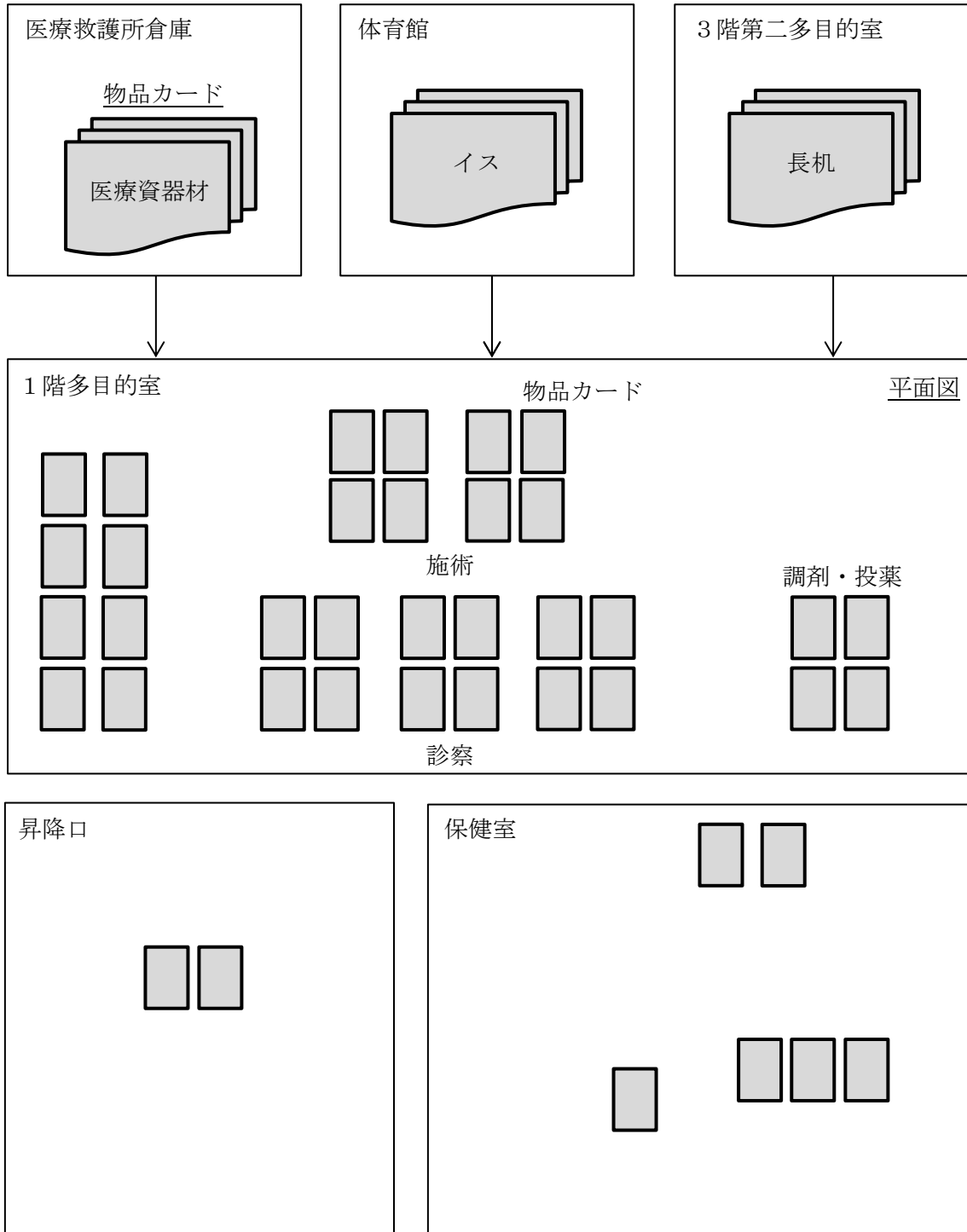
まずは、各班 1 階多目的室、特別支援木工室、3 階多目的室に分かれる。最初に、各班の医師の中から統括医、区職員の中から班長を選任し、その後、医療救護所アクションカードに沿って役割分担を行う。軽症エリア、重症エリアのリーダーを決め、軽症エリア、重症エリア、トリアージ担当、調剤・投薬担当、医療救護所本部に人員を割り振る。割り振り終了後、次の表に担当者を記入する。その後、参集状況を災害対策健康部あてに LINE WORKS を使用して報告する。(下表とは別様式)

| 担当 | 氏名 | |
|-------------------------------|---------|---------|
| 統括医 | (医師) | |
| 軽症エリア (リーダーには、氏名の頭に○を付ける。) | (診察) | (診察) |
| | (補助) | (補助) |
| | (薬局) | (薬局) |
| | (施術) | (施術) |
| | (トリアージ) | (トリアージ) |
| 重症エリア (リーダーには、氏名の頭に○を付ける) | (処置) | (処置) |
| | (補助) | (補助) |
| | (トリアージ) | (トリアージ) |
| 医療救護所 本部 | (班長) | |
| | (搬送) | (本部) |
| | (本部) | (本部) |
| 予備記入欄 | | |

② 設営 (20分) @各教室

拡大印刷した各エリアの学校平面図上で、格納場所にある物品カードを置くことで設営を行っていく。新型コロナウイルス感染症を考慮し、人と人との間隔を開けるようにするなど、密閉・密集・密接にならないよう配慮する。

設営終了後、医療救護所の開設を、防災無線を使用して報告する。



(3) 医療救護活動訓練 (60分)

① トリアージ (20分) @ 1階多目的室

傷病者役に対し、2人1組で、START法でトリアージを行う。傷病者役は、症例ビブスを着用する。また、症例の中には、軽傷かつ発熱症状ありの患者を加え、対応についてディスカッションする時間も設ける。

| | |
|----------|--------------------|
| 担い手 | 歯科医師・薬剤師・柔道整復師 |
| 見学者 | 医師・看護師 |
| 傷病者役 | 区職員 |
| ファシリテーター | 災害拠点病院医師（または地域医療課） |

○軽傷かつ発熱症状ありの患者に対する訓練での対応（案）

対応できる人員や使用できる教室、物品等を考慮し、ディスカッションを行い、受け入れ方法の方針を検討する。

【パターン1】

通常どおりトリアージや診察、施術、調剤・投薬を行い、その後、在宅避難または咳・熱症状者スペースに案内する。その患者の動線については消毒を行う。

【パターン2】

咳・熱症状者スペースに案内し、医療従事者が感染対策を講じた上で巡回し、医療行為を行う。自宅が安全なものは在宅避難、そうでなければ、咳・熱症状者スペースで避難してもらう。

【パターン3】

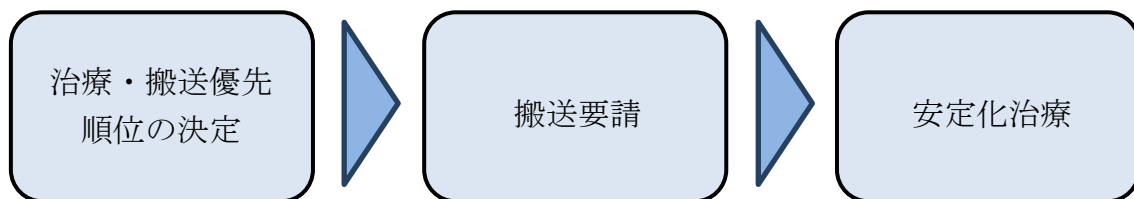
軽症者エリアの中において、咳・熱症状ありとなしで、パーティション等でスペースを区切り、人員も分割し対応する。対応後は、在宅避難または咳・熱症状者スペースに案内する。

② 重症者処置（20分）@保健室

歩行できず保健室に移送された重・中等症者（3人程度）に対し、トリアージを行い、治療および搬送の優先順位を決める。搬送順位が決まったら、医療救護所本部を経由し、災対健康部へ搬送を要請する。

その後、医療救護所に備蓄している医療資器材および医薬品を確認し、安定化治療（輸液・止血・気道確保等）を行う。

| | |
|----------|----------------|
| 担い手 | 医師・看護師 |
| 見学者 | 歯科医師・薬剤師・柔道整復師 |
| 傷病者役 | 区職員 |
| ファシリテーター | 災害拠点病院医師 |



| 症例1 (黄) | 歩行 | 呼吸数 | 脈拍 | 主訴 |
|------------|-----------------------------|-------|-------|---------|
| | × | 25回/分 | 60回/分 | 右足の出血疼痛 |
| 状況 | 家屋の倒壊により受傷。右足から骨が露出、出血している。 | | | |

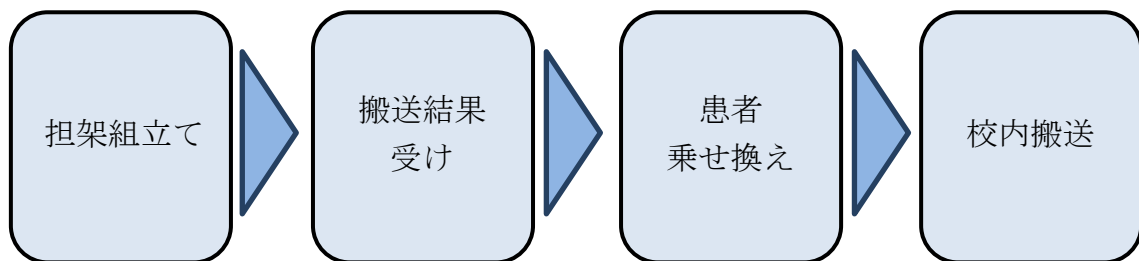
| 症例2 (赤) | 歩行 | 呼吸数 | 脈拍 | 主訴 |
|------------|---------------------|-------|--------|---------------|
| | × | 30回/分 | 120回/分 | 呼吸苦、発汗、右胸部打撲跡 |
| 状況 | 車走行中、ハンドルを取られて電柱に衝突 | | | |

| 症例3 (赤) | 歩行 | 呼吸数 | 脈拍 | 主訴 |
|------------|----------------------------|-------|--------|---------------------------|
| | × | 30回/分 | 120回/分 | 意識障害・腹痛、腹部膨満、 右側腹部に打撲痕 |
| 状況 | 駅で群集の下敷きになり、胸腹部を強く打撲、圧迫された | | | |

③ 搬送（20分）@被服室

備蓄されている担架1台に加え、訓練用に用意した1台、計2台を組み立て、ベッドに寝ている患者を担架に乗せ換え、動線に従って、車両停車場まで搬送する。最後に担架を折り畳む。

| | |
|----------|-----------------------|
| 担い手 | 区職員 |
| 協力者 | 医師・歯科医師・薬剤師・柔道整復師・看護師 |
| 傷病者役 | 区職員 |
| ファシリテーター | 災害拠点病院医師（または地域医療課） |



④ 医療救護所本部（60分）@2階応接室

トリアージタグ1枚目を回収し、傷病者一覧を作成する。また、トリアージタグ本体や搬送者カードを回収し、傷病者の消込みを行う。

患者搬送や医薬品供給の要請を受け、防災無線およびLINE WORKSを使用し、利便性を比較しながら通信訓練を行う。

<傷病者一覧作成>

- 1 多目的室と保健室に置かれているトリアージタグ1枚目を回収する。
- 2 それを基に傷病者一覧を作成し、トリアージタグ1枚目をホワイトボードに貼り付ける。
- 3 多目的室のトリアージタグ本体、保健室の搬送者カードを回収し、傷病者の手当の状況を確認し、完了していれば傷病者一覧の対象者の氏名等を斜線で抹消する。
- 4 残っている傷病者の人数（色別）を聞き取る。

<通信訓練>

| 時間 | 要請元/ (結果通知先) | 要請内容 | その後の 通信手段 |
|-------|-----------------|---------------|--------------|
| 10:10 | | 医療従事者応援要請 | 防災無線 |
| 10:20 | 重症者処置 | 患者搬送要請 | LINE WORKS |
| | (重症者処置) | 患者搬送先および時間の目安 | 口伝 |
| 10:30 | | 医薬品供給要請 | LINE WORKS |
| 10:40 | 重症者処置 | 患者搬送要請 | 防災無線 |
| | (重症者処置) | 患者搬送先および時間の目安 | 口伝 |
| 10:50 | | 医療機関稼働状況 | 掲示 |
| 11:00 | 重症者処置 | 患者搬送要請 | LINE WORKS |
| | (重症者処置) | 患者搬送先および時間の目安 | 口伝 |

※重症者処置訓練への患者搬送先等の回答は、あらかじめ用意したものをその場で回答することとする。

<クロノロジー作成>

上記の通信訓練の内容およびコントローラーから付与される事柄をホワイトボードに書き込んでいく。